

列国議会に宛てた潘基文国連事務総長の書簡

(非公式日本語訳)

2010年2月24日

・・・閣下

私たちは今、核兵器のない世界を通じた国際の安全の達成に向け、貴重な分岐点に立っています。ここ数年にわたり、この目標に向けた気運が醸成されてきました。その少なくない部分が市民社会と国会議員のたゆまぬ努力によるものでした。

私自身も平和と軍縮の課題の再活性化に努めてきました。2008年10月、私は核軍縮のための5項目を提案しました。私のイニシアティブに与えられた支持はとても勇気付けられるものでした。とりわけ、2009年4月の列国議会同盟（IPU）が、各国議会が自国政府にこの提案を支持するよう指示したことを、私は歓迎しました。これに関連した努力、ならびに核兵器禁止条約への支持獲得に向けた活動を行っている核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）に心より敬意を表します。

2008年以来、私たちは前進を勝ちとってきました。ロシアとアメリカは両国が保有する戦略核兵器のさらなる削減について交渉しています。国連安全保障理事会は核軍縮と不拡散に関する歴史的な首脳会議を開催しました。アフリカと中央アジアにおいては非核兵器地帯を設立する条約が発効しました。世界的な核軍縮を求める声が至る所から沸き起こっており、グローバル・ゼロの目標を達成するための実際的な提案を含む詳細な計画が提案されています。

2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議を前にして、こうした気運を維持するために、私は「核軍縮と不拡散に関する行動計画」を提案しました。私の提案は、一つの基本原則——すなわち、核軍縮と核不拡散は相互に強化し合う不可分のものである、という基本原則に基づくものです。行動計画においては、私は市民社会および国会議員のより深い関与を促す方法を探求することを約束しました。

国会議員と議会は、軍縮および不拡散の努力が成功するために極めて重要な役割を担っています。議会は諸条約やグローバルな合意の履行を支援し、法の支配に寄与し、誓約の遵守を促進します。また、透明性や説明責任を向上させる法律を採択することで、議会は信頼を醸成し、検証を促進し、軍縮をいっそう進めることにつながる条件を創り出します。

国際社会がかつてない世界的試練に直面しているいま、国会議員は、ヒューマン・ニー

ズに向けられるべき貴重な資源を減らせないで、持続可能な地球規模の安全保障を確実なものとするのに指導的役割を担うことができます。議会が各国の財政上の優先順位をつける役割を担うわけですから、平和や協調的安全保障の追求にいかほど投資をするかを議会が決定することができます。議会は、こうした目的に必要であり、かつ実際的な方法の開発を支援する制度的基盤を確立することができます。

以上のことから、私はこの機会をとらえて、核兵器のない世界を達成する努力に、すべての国会議員の参加を促したいと思います。とりわけ、平和と軍縮に対する支持を拡大し、軍縮および不拡散に関する条約を発効させ、核軍縮の目標を達成し維持するために必要な立法議案について今すぐ作業に着手することを、私は議員の皆さんに要請します。

世界的な核軍縮および不拡散の前進に向けて、皆様と共同で働く機会があることを心待ちにしています。

心を込めて、

潘基文